

## 野に咲く花の歴史

- ・番号は裏面の写真番号
- ・時代の色は花の色

### 【農耕文化とともに日本に入ってきたと考えられている植物】

#### 草花が初めて掲載されている時代と文献

- ⑬ハハコグサ **平安初期** 文徳実録、本草和名に和名「<sup>ははこぐさ</sup>波々古久佐」と掲載
- ⑭カタバミ **平安初期** 本草和名に和名「<sup>かたばみ</sup>加多波美」と掲載
- ⑫ヘビイチゴ **平安初期** 本草和名に和名「<sup>へみいちご</sup>倍実以知古」と掲載
- ⑦タガラシ **江戸中期** 大和本草巻乃八 草乃四 水草類(1709)に掲載
- ④ムラサキサギゴケ **江戸中期** 地錦抄附録(1733)に掲載
- ⑨ジシバリ **江戸中期** 諸国産物帳(1735-40)に掲載
- ⑭スズメノテッポウ **江戸末期** 物品識名(1809)に掲載

### 【江戸時代以前に日本に入ってきたと考えられる植物】

#### 草花が初めて掲載されている時代と文献

- ①ゲンゲ **江戸中期** 大和本草巻乃九 草乃五 雑草類に掲載
- ②ヤハズエンドウ(カラスノエンドウ) **江戸中期** 和漢三才図会(1713)に掲載
- ③トキワハゼ **江戸末期** 物品識名拾遺(1825)に掲載
- ⑥ツメクサ **江戸末期** 物品識名拾遺(1825)に掲載
- ⑧ケキツネノボタン **特になし**(現在調査中)

文徳実録(平安時代の歴史書 879年完成)、本草和名(日本最古の薬物辞典 920年ころ)、大和本草(貝原益軒著作の日本最初の博物辞典 1709年)、

### 【開国後に日本に入ってきたと考えられている植物】

#### 草花が確認された時代と場所

- ⑬ムラサキカタバミ **江戸末期** 文久年間(1861-63)に観賞用として輸入
- ⑤コバンソウ **明治中期** 明治17年(1884)に確認。観賞用として輸入
- ⑭イモカタバミ **昭和中期** 戦後(1900年代中ごろ)に観賞用として輸入

<参考文献・情報> 野に咲く花(山と溪谷社)、野草の名前春(山と溪谷社)、日本古典全集 本草和名(現代思想新社)、大和本草(中村学園)、侵入生物データベース(独立法人国立環境研究所)、資料別・草木名初見リスト(慶応義塾大学日吉紀要・自然科学)No.45、植物雑学事典(岡山理科大学)

【東京港野鳥公園ホームページ [https://www.tptc.co.jp/park/03\\_08](https://www.tptc.co.jp/park/03_08)】

【東京港野鳥公園ボランティアガイドブログ <http://tokyokovg.seesaa.net/>】で今観察できる野鳥、昆虫、植物の最新情報をいち早くお届けしています。ぜひご覧ください。

## 足元に古と季節を感じる!! 野に咲く花だより【春二号】

4月下旬から5月上旬に咲いている野の花や実の写真・名前の由来・歴史を紹介してあります。観察の参考にしてお楽しみください。また5～6月以降に咲く花は【初夏号】をご覧ください。

### 田んぼの周りに咲く花

園内は植物採取禁止です。ご協力をお願いします



- ①ゲンゲ(別名レンゲ) ● ←花の色  
長さ：約15mm  
特徴：田植えまで田んぼを彩る  
由来：輪のように咲く姿を蓮華座に見立てた(レンゲの方が親しみやすい?)



- ②ヤハズエンドウ(別名カラスノエンドウ)  
長さ：12-18mm  
特徴：花は紅紫色のつる性の野草  
由来：実が黒く熟すのをカラスに例えたもの(実は本当に真っ黒ですよ)



- ③トキワハゼ ●  
長さ：約10mm  
特徴：下側唇型の花びらが白っぽい  
由来：1年中咲くので「トキワ」、種が飛び散る(爆ぜる「ハゼル」)ことから



- ④ムラサキサギゴケ ●  
長さ：15-20mm  
特徴：下側唇型の花びらも紫色  
由来：花の形を鷲、横に広がる姿を苔に見立てた(真面目な名づけ方?)



- ⑤ヒメコバンソウ ●  
小穂長さ：14-22mm  
特徴：円錐状の花序が垂れ下がる  
由来：黄褐色に熟した小穂の形を小判に例えたもの(春はまだ緑色)



- ⑥ハマツメクサ ○  
直径：約4mm  
特徴：小さいがよく見ると星形に整った花  
由来：細くて先が尖った葉が、猛禽類の爪に似ている(鳥好きが命名?)



⑦ **タガラシ** ● ←花の色

直径：8-10mm

特徴：花の中央に緑色の花床が目立つ

由来：田を枯らすように繁茂する(田枯し)、辛み成分を含んでいる(田辛し)の2説



⑧ **ケツネノボタン** ●

直径：約12mm

特徴：茎や葉柄など全体に毛が多い

由来：葉がボタンに似ているのに黄色の小さい花が咲き、キツネに化かされた



⑨ **ジシバリ** ●

直径：20-25mm

特徴：葉が卵形でスプーンのような

由来：地面に広がって地面を縛るように見える(観察眼と表現力)



⑩ **オオジシバリ** ●

直径：25-30mm

特徴：葉は長くヘラのような形

由来：ジシバリより花、葉が大きいことによる



⑪ **コメツブツメクサ** ●

長さ：3-4mm

特徴：花が5-20個ほど球状に集まる

由来：花が小さく米粒に似ているので(コメツブはぴったり)



⑫ **ヘビイチゴ** ●

直径：12-15mm

特徴：葉は3小葉で黄緑色

由来：ヘビが出そうな草藪に生える。果実はまずくヘビなら食べそう。の2説



⑬ **ハハコグサ(春の七草オギョウ)** ●

長さ：3mm(の花が集まっている)

特徴：全体に綿毛におおわれ白っぽい

由来：諸説あり。黄色い花をやさしく包む綿毛の葉が母のイメージ(私好み)



⑭ **スズメノテッポウ** ●

長さ：30-80mm

特徴：おしべの葯は花粉を出すと黄褐色

由来：小さいので「スズメ」。穂を引き抜くと弾込め棒、残った茎が火縄銃(お見事!)

## 色々なカタバミ(傍食)

かたばみ  
貝原益軒も大和本草(1709)の中で酢漿草  
「葉ノ色青ト紫ト二種アリ」と記述している



⑮ **カタバミ**

葉が緑色の本家



⑯ **ウスアカバカタバミ**

葉が小さく赤みがかった



⑰ **オッチチカタバミ**

茎が直立している



昔からカタバミが好きな日本人。  
桐に次いで2番目に多い**家紋**

由来：  
日が陰ったり、夕方になって葉が閉じると、葉の片側が無くなったように見えることから



幼虫の時からカタバミが大好きな**ヤマトシジミ**



⑱ **ムラサキカタバミ**

花の中央が緑色



⑲ **イモカタバミ**

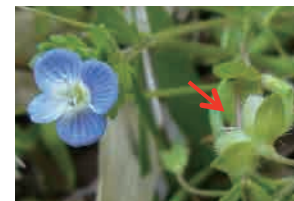
花の中央が濃い紅色

## イヌノフグリの仲間の果実

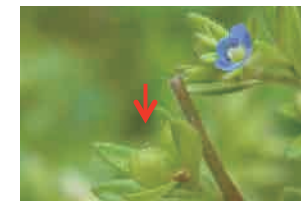


犬種：トイプードル  
性別：♂ 名前：カステラ  
(各自でご確認ください)

名前の由来となっている果実の形を見比べてください



**オオイヌノフグリ**



**タチイヌノフグリ**



**フラサバソウ**